

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「福岡歯科大学医科歯科総合病院歯科部門における抗菌薬適正使用および細菌培養検査結果に関するサーベイランス」についての研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。

そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2024年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2014年1月1日から2020年12月31日までに、本院歯科を受診され、口腔感染症等にて抗菌薬処方を受けた方、抗菌薬処方および細菌培養検査を受けた方が対象です。

目標症例数は、抗菌薬処方件数として62,817例、細菌培養検査実施者として1,407例です。

なお、本研究は、すでに匿名化された情報（処方箋、注射箋、検出菌データ）を収集・分析することです。したがって、皆様の個人情報漏洩することはありません。

2. 研究の目的や意義について

本院院内感染対策委員会では、活動の一環として、全国のすべての大学病院と同様に、毎月、病院全体の個人情報を含まない抗菌薬使用状況（種類・処方量）および薬剤耐性菌発生状況のモニタリング（サーベイランス）を行ってきました。目的は、抗菌薬の乱用を防ぐこと、さらに薬剤耐性菌の検出状況を監視することで、WHOおよび厚生労働省が推奨する抗菌薬耐性菌（AMR）アクションプランに寄与するためです。さらなる活動強化のため、独自の取組みとして、2016年5月より、各種抗菌薬適正使用ガイドラインの周知、毎月の診療科ごとの抗菌薬使用状況（種類・処方量）および薬剤耐性菌発生状況（細菌培養検査結果の調査）の報告を行い、全職員に注意喚起を行ってきました。今回、過去5年間の当院歯科部門における抗菌薬使用および細菌培養検査結果の調査および解析を行い、当院における抗菌薬適正使用の成果および今後の改善点を検討するこ

とを目的としました。

本調査の学術的意義としては、継時的な抗菌薬使用および細菌培養検査結果の調査を行うことにより、細菌培養検査で検出された口腔感染症原因菌に対して適切な抗菌薬選択・投与がなされているかを検討できます。また、社会的意義としては、本研究によって明らかとなった種々の効果および問題点を抽出することで、歯科におけるより良い抗菌薬選択・投与法を提供できるという利点が期待できます。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、対象となる方の処方箋、注射箋および検出菌データより以下の情報を取得します。また、保管されている処方された抗菌薬の種類・量および細菌培養検査結果を用いて、当院にて抗菌薬適正使用が行われているかを明らかにします。

[取得する情報]

抗菌薬処方情報（種類、量）、
細菌培養検査結果（膿汁、穿刺液、咽頭拭液、喀痰、血液）

4. 試料や情報の管理について

この研究において得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学総合歯科学講座訪問歯科センターにおいて同分野教授の森田浩光の責任の下、10年間保存した後、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学医科歯科総合病院 院内感染対策チーム
研究責任者	福岡歯科大学総合歯科学講座訪問歯科センター・教授 森田 浩光

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学総合歯科学講座訪問歯科センター・教授 森田 浩光 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線 125) 〔FAX〕 092-801-0475 メールアドレス：morita@college.fdcnet.ac.jp
---------------	--

(作成日：2019年10月28日 最終修正日：2021年12月3日)